

シングルマザーの
暮らしを支える

全国 ひとり親 居住支援 機構

ANNUAL REPORT
2025



こどもたちとお母さんが、
笑顔で安心して暮らすことができる
住環境を全国で増やします。

同じ思いの全国の母子ハウスの運営事業者が集まり、お母さんたちのために
できることを考えました。それぞれが各地で母子のためのハウスを運営しながら、
こどもたち、お母さんたちが自立して暮らせるように、日々活動をしています。



特定非営利法人
全国ひとり親居住支援機構
代表理事 秋山 怜史

秋山怜史（あきやま・さとし）

「社会と人生に新しい選択肢を産み出す」ことを理念に掲げ、建築家としてこどもの福祉施設を中心に設計活動を行う。2012年より日本で初めてとなるシングルマザー専用シェアハウスの運営企画に参画。2015年に母子家庭向け不動産ポータルサイト「マザーポート」を立ち上げ。2019年にNPO法人全国ひとり親居住支援機構代表理事に就任。母子家庭の居住支援における中間支援組織として活動をおこなっている。

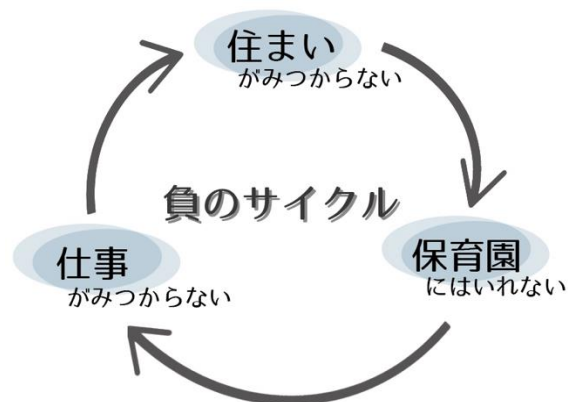
PROFILE

私たちの目指す姿



もし、あなたが住む場所を借りることができなかつたら、どうしますか？

住所を持つことができれば、保育園に預けることもできません。保育園に預けられないと、仕事をすることができません。仕事をすることができれば、住所を持つことができません。住まいを確保できないと、こうしたジレンマに直面してしまう可能性が極めて高くなります。



住宅は生活すべての基盤であり、住宅に困らない、住宅が安全で安心である、ということはその先の未来を考える上で最も大切なことのひとつだと思います。安定した住まいはひとり親の自立への第一歩です。ひとり親のための住まいが増えることによって、安心して未来を見据え、将来に希望が持てるようになっていくと信じています。



理事紹介



富田 春奈

(とみた・はるな)

大学生時のインターンで、女性社長支援会社で様々なシングルマザーと出会う。仕事だけでなく暮らしの部分でも大変なことを知り、シングルマザーの暮らしを支えられるような人になりたいと強く思う。現在主にマザーポート事務局を担当。不動産仲介会社 宅地建物取引士



細山 勝紀

(ほそやま・まさのり)

2012年日本初のシングルマザーシェアハウス【ペアレンティングホーム高津】を企画・運営。2017年にシェアハウス企画運営会社イノベートバリューを設立し、シェアハウスの企画運営のための大家さん向け書籍を出版。その後株式会社エヌアセットと合流し地域の不動産管理会社として様々な経験をもとに多様なお客様の目線に立った賃貸物件と管理サービスの展開をしている。

会計報告

2025年度の計上

費用合計は

36,326,992円、

当期計上増減額

は2,924,645円の

増加、次期繰越

正味財産額は

12,825,871円と

なりました。

科目	金額	
1 経常収益		
1. 受取金		
公益金受取金	101,000	
2. 寄附金		
寄附金	51,170	
3. 事業収益		
公益家賃生事業収益	2,083,320	
施設運営プロジェクト事業収益	4,076,230	
経理の公益家賃プロジェクト事業収益	31,851,598	38,911,139
4. その他収益		
受取利息	2,808	
雑収益	185,300	188,308
経常収益計		39,251,037
2 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	1,200,000	
人件費計	1,200,000	
(2)その他の経費		
業務委託費	24,560,583	
施設運営費	153,904	
消耗品費	84,018	
雑費	30,800	
水道光熱費	1,351,235	
地代家賃	4,113,699	
施設保安費	285,700	
支払手数料	550,000	
支払助成金	388,000	
支払寄付金	300,220	
その他経費計	31,768,207	
事業費計		32,368,207
2. 寄附費		
(1)人件費		
給料手当	2,040,000	
人件費計	2,040,000	
(2)その他の経費		
業務委託費	28,348	
消耗品費	72,336	
支払手数料	1,152,410	
支払寄付金	3,000	
雑費	42,851	
その他経費計	1,318,785	
寄附費計		3,358,785
経常費用計		35,726,992
経常費用増減額		2,924,045
前年度正味財産増減額		2,924,045
法人税、住民税及び事業税		74,500
前期正味財産増減額		2,850,145
前期繰越正味財産額		9,975,726
当期繰越正味財産額		12,825,871

これまでの沿革・成果



2019年に全国ひとり親居住支援機構を設立して以来、より多くの母子家庭の住まいを支援するため、運営事業者同士の横のつながりや情報交換、ノウハウをも広く共有して話し合う場を提供してきました。

母子ハウスのこれまでの動き

2010年頃から単身世帯を中心としたシェアハウスが日本でも広まってきました。そのような中、2012年に代表の秋山と理事の細山が「ペアレンティングホーム高津」を開設しました。

以降、全国にその動きが広まり、2024年9月時点、全国で約24事業者・58物件があります。

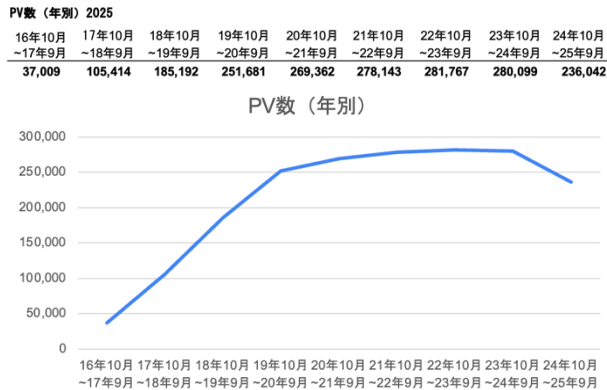
2012年 「ペアレンティングホーム高津」を開設

2015年 「マザーポート」を開設

2019年 全国ひとり親居住支援機構を設立

PV数（年次推移）

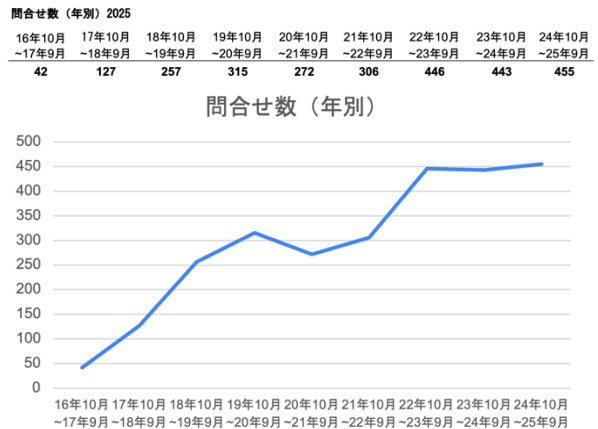
PV数は近年28万PVを超えていましたが、2025年度は23.6万PVと下落しました。要因について分析を進めます。



※2023年の7月～9月の間、PVが計測できなかった期間を含んでいます。

問合せ数（年次推移）

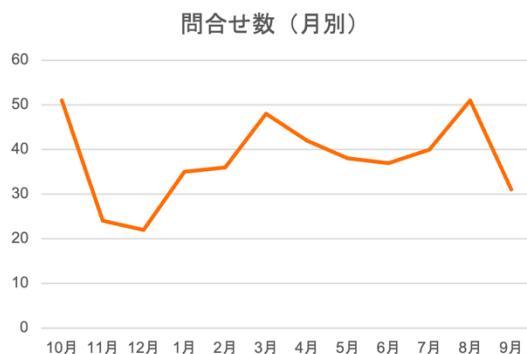
問合せ数は増加傾向にあります（一時コロナの影響有）。



2025年度の成果

2025年度 問合せ数（月次推移）

1年間の問合せは10月、3月、8月が多い傾向にあります。

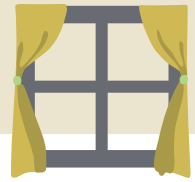


2025年度 タイプ別問合せ数と入居数

マザーポートを通じた平均入居率は8.76%となりました。タイプ別に見ると、「シェアハウス」タイプが11.06%、「アパート/マンション」タイプが5.29%、「一軒家」タイプは問い合わせが1件のみで100%となりました。

タイプ	問合せ数	入居数	入居率
シェアハウス	217	24	11.06%
アパート/マンション	170	9	5.29%
一軒家	1	1	100.00%
合計	388	34	8.76%

活動紹介



豊島区プロジェクト

2023年3月に豊島区、シングلزキッズ株式会社と「豊島区モデル」第1号物件を完成させました。豊島区内の大家さんから当NPOが空き家を借り上げ、改修費や準備費用を全て当NPOが引き受け、運営をシングلزキッズに委託します。運営管理を委託する事業者の金銭的リスクを可能な限り軽減する取り組みです。2024年度は第3・4号物件を開設し、物件数を増やしました。



詳しくはこちら →
(豊島区プロジェクトの活動紹介ページへ)



女性の自立支援（SWIP）

休眠預金活用事業として、2023年度より女性の自立を応援するプログラム「SWIP（Supporting Women's Programs）」の提供を開始しました。シングルマザーなどの経済的・心理的な自立を応援するため【6ヶ月間の家賃補助】+【コーチング】+【ファイナンシャルプラン設計】をセットにしたプログラムです。2025年度は7事業者の母子ハウスで58名の女性がこのプログラムに参加しました。



SWIPクラウドファンディング

SWIPの受け入れ人数を増やすため、2025年4月までクラウドファンディングを実施しました。100人以上の方にご支援いただき、目標の200万円を大きく上回る結果となりました。



休眠預金資金活用

2019年度より休眠預金活用事業として、一般社団法人 全国古民家再生協会と当NPOとが資金分配団体となり、5事業者の空き家を活用した母子ハウス開設を支援してきました。2024年度は最終年度として2025年1月24日に事業報告会を開催しました。





2015年開設、シングルマザーの住まいを探せるサイト

シングルマザーが家を探そうとしたとき、不動産ポータルサイトでは母子家庭の入居が可能な物件や母子シェアハウスの情報を見つけることはできません。専用サイトの必要性を感じ、2015年に開設したのがシングルマザー専用の不動産サイト「マザーポート」です。



全国の母子シェアハウスのほか、母子家庭が入居可能な一般賃貸住宅を紹介する不動産会社の情報や、ひとり親の移住を支援する自治体を紹介しています。

詳しくはこちら →
(マザーポートTOPページへ)



マザーポート移住

ひとり親の移住を支援する自治体を紹介。住まいはもちろん生活や住む人についても知ることができます。



一般賃貸を探す

全国のエリアごとに、母子家庭が入居可能な一般賃貸住宅を紹介する不動産会社を探せます。



読みもの・動画

母子親家庭の住まい・暮らし・生活に役立つ情報を先輩シングルマザーたちがお届けします。



レポート

母子家庭の状況

マザーポートにこれまでお問合せをいただいたシングルマザーの婚姻・就労状況やこどもの人数・年齢、就労状況と移動距離との相関などについて紹介します。

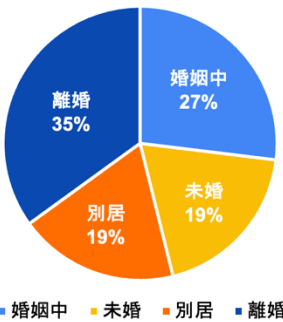
婚姻状況

婚姻状況は、離婚をした人が35%と最も多く、近年は離婚をする前（婚姻中）の人も増えています。

婚姻状況

婚姻中	87	27%
未婚	62	19%
別居	61	19%
離婚	113	35%
合計	323	

婚姻状況



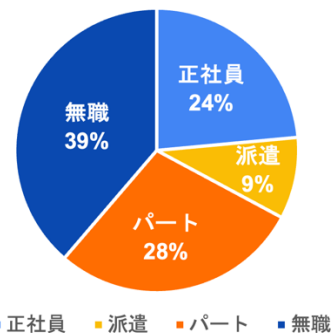
就労状況

就労状況は「無職」が1番多く39%と増えており、「パート」とあわせて67%になります。

就労状況

正社員	76	24%
派遣	30	9%
パート	92	28%
無職	125	39%
合計	323	

就労状況



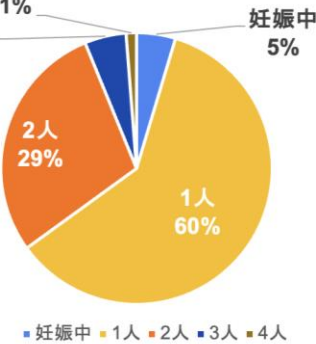
こどもの人数

こどもの人数は「1人」の人が60%と最も多く、「2人」が29%、「3人」以上の家庭は6%、「妊娠中」の人も5%います。

こどもの人数

妊娠中	15	5%
1人	195	60%
2人	93	29%
3人	16	5%
4人	4	1%
合計	323	

こどもの人数



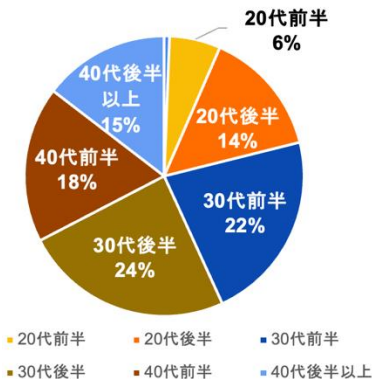
母親の年齢

母親の年齢は「20代後半」～「40代前半」がボリュームゾーンです。

母親の年齢

20代未満	2	1%
20代前半	19	6%
20代後半	47	15%
30代前半	71	22%
30代後半	78	24%
40代前半	58	18%
40代後半	47	15%
合計	322	

母親の年齢



タイプ別住戸数・稼働率

タイプ	事業形態	物件	棟数	住戸数	空き部屋	稼働率
シェアハウス	借上	水回り共有	17	69	9	86.96%
		水回り一部専有	1	4	3	25.00%
	成果連動	水回り共有	2	7	5	28.57%
		水回り一部専有	2	18	5	72.22%
	所有	水回り共有	11	49	14	71.43%
		水回り一部専有	1	3	0	100.00%
その他	水回り共有	3	10	7	30.00%	
アパート/マンション	借上	一部賃貸	1	不明	不明	0.00%
		一棟賃貸	3	22	16	27.27%
	成果連動	一部賃貸	2	5	2	60.00%
		一棟賃貸	3	12	0	100.00%
	所有	一部賃貸	5	9	4	55.56%
		一棟賃貸	6	51	2	96.08%
	その他	一部賃貸	3	3	3	0.00%
		一棟賃貸	2	15	6	60.00%
		その他	2	6	6	0.00%
		借上	1	1	1	0.00%
一軒家	成果連動	1	1	1	0.00%	
	所有	0	0	0	0.00%	
合計			66	285	84	70.53%

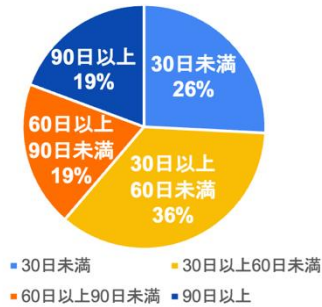
問合せ～入居までの期間

問合せ～入居までの期間は「60日未満」が6割と非常に短期間で入居に至る傾向にあります。

問合せから入居までの期間

30日未満	8	25.8%
30日以上60日未満	11	35.5%
60日以上90日未満	6	19.4%
90日以上	6	19.4%
合計	31	

問合せ～入居までの期間





入居の希望・傾向

マザーポートにおいて見えてきた今年度（2023年10月～2024年9月）と昨年度（2022年10月～2023年9月）の入居の希望、傾向について紹介します。

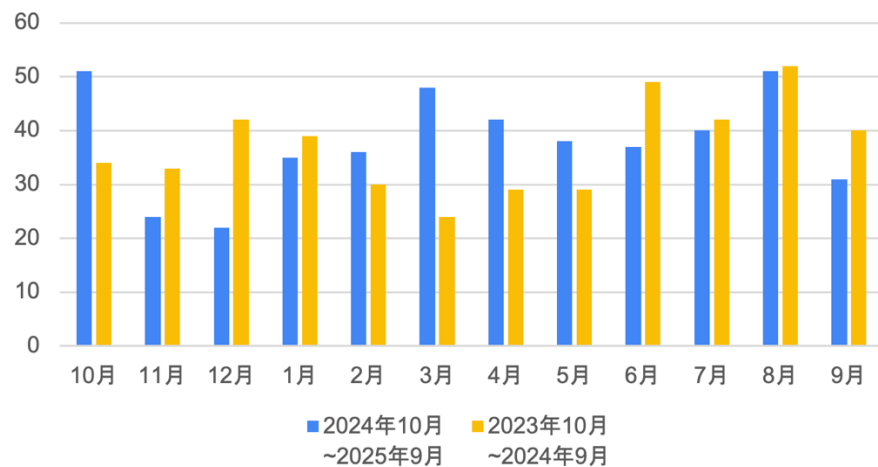
問い合わせ件数（月別）

年間の問い合わせ件数を見ると、過去には、年末や年度末が見える12月～3月が多い傾向にありましたが、今年度（2024年10月～2025年9月）は8月、10月に年度末を超える問い合わせがありました。

年間問い合わせ数（月別）

年月	2024年10月 ～2025年9月	2023年10月 ～2024年9月
10月	51	34
11月	24	33
12月	22	42
1月	35	39
2月	36	30
3月	48	24
4月	42	29
5月	38	29
6月	37	49
7月	40	42
8月	51	52
9月	31	40
合計	455	443

年間問い合わせ件数（月別）



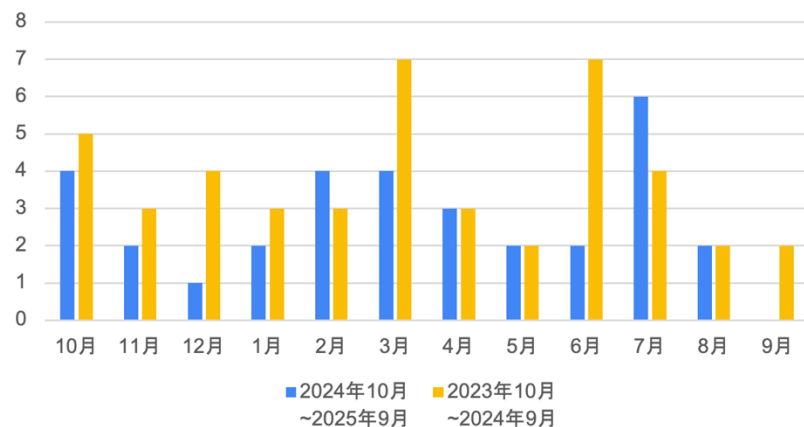
入居数（月別）

入居月は年度末である「3月」が最も多い傾向にあり、半期の「10月」やGWの「5月」「6月」に移動する人もいます。今年度（2024年10月～2025年9月）は特に「7月」が多い状況でした。

入居数 未回答の物件あり

年月	2024年10月 ～2025年9月	2023年10月 ～2024年9月
10月	4	5
11月	2	3
12月	1	4
1月	2	3
2月	4	3
3月	4	7
4月	3	3
5月	2	2
6月	2	7
7月	6	4
8月	2	2
9月	0	2
合計	32	45

入居数（月別）



これからの取り組み



組織診断・全社ヒアリング実施

今後の組織基盤強化を目指し、2025年12月に第三者である専門家を交えた組織診断を実施しました。また、2025年10月より運営事業者の皆さまにご協力いただき、NPOの提供する支援に関するご意見や母子の居住支援に一層貢献するために必要なことをヒアリングしています。2026年はNPOの目指す姿を明らかにして皆さまに提示できるようにします。

大手民間企業との連携

女性の自立を応援するプログラム「SWIP (Supporting Women's Programs)」をより多くの方に利用していただくため、アメリカン・エクスプレス社様よりご支援いただいております。また2026年はグリコ様に従業員の皆さまが自社商品を購入したポイントを資金として社会貢献を行う「バイグリコ」よりご支援をいただく予定です。

組織ガバナンスの強化

前述の組織基盤強化の具体策として組織ガバナンスの強化を行なっていきます。運営事業者の皆さまのご理解をいただきながら、倫理規定・コンプライアンス規定等を見直し、社会、ステークホルダーの皆さま、そしてシングルマザーから信頼されるNPOへの進化を目指します。引き続き応援とご協力をお願いいたします。

女性の自立支援SWIPの効果報告

2023年度より実施してきた女性の自立を応援するプログラム「SWIP (Supporting Women's Programs)」の事業報告を2026年春に予定しています。これまでの3年間の取り組みとその効果について、長く応援いただいていた多くの皆さまに報告させていただく機会です。専門家の研究を通じた結果報告もありますので、ぜひ奮ってご参加ください。

ご寄付のお願い

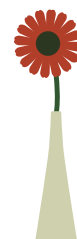
皆さまからいただいた寄付は下記の活動に使わせていただきます。

- 1 シェアハウスに住む母子とシェアハウス事業者が、すぐに必要な専門家（弁護士、保健師etc）に繋がれるようにするための資金
- 2 全国に母子の居住支援が広まるように、事業者の育成をするための資金
- 3 母子の居住支援に関わるデータとノウハウを蓄積、分析して、支援者や行政に共有するための資金

私たちの活動に賛同し、
応援いただけています。



↑ ご寄付の申込みフォームはこちら



団体概要

名称：NPO法人 全国ひとり親居住支援機構

所在地：〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町3-60 泰生ビル3階cosmos

創立：2019年7月24日

会員数：33人

役員：代表理事 秋山 怜史／理事 細山 勝紀

理事 富田 春奈／監事 馬淵 浩孝

NPOホームページ： <https://singleparenthouse.or.jp/>

お問合せ先

✉ info@singleparenthouse.or.jp

☎ 045-323-9347

マザーポート： <https://motherport.net/>

お問合せはこちら ↓

